

公開講演会

ペルシア・イスラーム文化の 諸相を知る －書道と詩を介して－

【講師】

ハサン・アーハンギャラン 博士
書道家、イラン教育省企画委員会委員

アリーアスガル・サーエム 博士
ペルシア詩人、カーシャン言論協会会長

【通訳】

澤田 達一 アルムスタッフアー国際大学在日事務所研究教務部長

【司会】

富田 健次 同志社大学神学部・神学研究科教授／CISMOR 幹事

2013年10月5日(土) 13:00-15:30
同志社大学 今出川キャンパス 至誠館3階会議室

【プログラム】

1) 挨拶/講師紹介	13 : 00 – 13 : 05	富田 健次
2) 講演 #1	13 : 05 – 13 : 50	ハサン・アーハンギャラン博士 講演
	13 : 50 – 14 : 10	“ 質疑応答
	—— 14 : 10 – 14 : 20	休憩 ——
3) 講演 #2	14 : 20 – 15 : 05	アリーアスガル・サーエム博士 講演
	15 : 05 – 15 : 25	“ 質疑応答
4) 閉会挨拶	15 : 25 – 15 : 30	富田 健次

【講師紹介】

ハサン・アーハンギャラン

1942年コム市生まれ。

セイエド ミルハニ ハサン他に師事し、ナスタアリーグ書体、シェキヤステ・ナスタアリーグ書体、またアルアムディハーメド他の作品からスルス、ナスフ書体を学ぶ。

聖クルアーンをナスタアリーグ書体で謹写。書道師範位、芸術第一等位を保持。

大学、高等研究所において40年以上教鞭を執る。また、イラン書道家協会のコム、アラク、カーシャーン支部等における支部長を歴任し、芸術祭などの審査員を務めるほか、20回以上の個展を開催している。また40冊以上の書籍、授業のテキスト、論文執筆、出版の実績を持つ。

教育養育省の教育企画委員会会員、選良議員協会の書道家協会永久議員。

*** CISMOR 最新情報を発信中です ***

<http://www.cismor.jp>

過去の公開講演会の動画ほか、ニュースなどご覧いただけます。

アリーアスガル・サーエム

1952年カーシャン市生まれ。

9歳で詩の才能を開花させ、13歳で詩の一つが、週刊誌“カーシャンの夕焼け空”に掲載されたのをはじめ、その後他の雑誌にも多数掲載される。以降、40年以上もの間、精力的に詩作に励み、ペルシア語文学の研究と著作活動にも励んでいる。

1985年から国内における最も活動的な組織のひとつであるカーシャン言論協会の会長を務めると共に、今もなお会議参加、大学等での後進の指導、また著作活動にも精力的に取り組んでいる。

サーエム氏の詩は情熱を歌いあげるのみならず、文化的な記念日にちなんだものを題材にしている。今までに発表された詩集は、「季節と思い出」、「花」、「星の狩人」ほか50作以上に及ぶ。

澤田 達一

1964年東京生まれ。

高校卒業後、アルバイトをしながらイラン留学を待ち、1989年にイラン留学。7ヶ月でペルシア語学校を卒業し、ハータム アンナビーン法学校に入学。その後も現地にてイスラーム学の研鑽を続け、1998年アルムスタファー国際大学を優秀な成績で卒業。

1999年から東京で、在日イスラーム教徒の身の上相談、法学相談。

2011年から現在までアルムスタファー国際大学在日事務所研究教務部長を勤める。

クルアーンの日本語訳、“このように礼拝をしましょう”の日本語訳、エッテマーディ師による2007年7月14日早稲田大学における講演会通訳など、翻訳・通訳の経験多数。

MEMO



【次回のご案内】

日本オリエント学会共催講演会

ツタンカーメン王と信仰復興

ー アマルナ以後のエジプト第18王朝

毎年恒例となっております、(社)日本オリエント学会との共催講演会を開催いたします。
今回はゲストに河合望先生(早稲田大学)をお迎えし、ツタンカーメン王と信仰復興をテーマにお話
頂きます。

昨年度の共催講演で近藤二郎先生に”アマルナ前夜”として講演いただいたアメンヘテプ3世治世後期
～アマルナ革命を経て約50年後に登場するツタンカーメン治世期の信仰復興に焦点を当てた内容で
す。奮ってご参加ください。

【日時】 2013年10月19日(土) 13:00-15:00

【会場】 同志社大学 今出川キャンパス 神学館3階礼拝堂

【講師】 河合 望 (早稲田大学高等研究所准教授)

【主催】 (社)日本オリエント学会、同志社大学一神教学際研究センター(CISMOR)

日本語講演